（つばさ事業様式1）

2022年度

筑波大学START大学推進型（「つばさ」事業）研究開発課題

申請書

筑波大学国際産学連携本部長　殿

申　請　者（研究代表者氏名）

所属・職名

（大学院生の場合は、所属に専攻もしくは学位プログラム名、職名には学年を記載）

１　研究開発課題（和文）：[研究開発内容が明確である表現であること　50字以内]

研究開発課題（英文）：[25 words以内]

２　チーム構成

（適宜増やしてください）

|  |
| --- |
| **研究代表者** |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **メンバー１** |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **メンバー2** |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **メンバー3** |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |

（指導教員の氏名、所属、職名※：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※研究代表者が大学院生の場合は、指導教員の承認を得たうえで申請のこと。審査の結果、採択された場合は別紙：つばさ事業様式3「確認書」を提出すること。内容を事前に指導教員と確認のこと。

３　研究開発課題の概要：[300字以内で記載]

４　本申請の研究開発課題の背景となる研究成果：[700字以内で記載]

（知的財産の取得状況を含めること）

５　ビジネスプラン：[700字以内で記載]

（想定顧客と課題、その課題を解決するソリューション、市場規模と成⻑性、独自価値およびその競合他社との⽐較、チームメンバーの役割分担、ビジョン等を明確に記述すること）

６　プログラム終了時の目指す姿：[300字以内で記載]

（ベンチャー起業、STARTプロジェクト支援型申請の時期・計画など）

７　本研究開発課題の推進に必要な経費（別紙：つばさ事業様式2を用いても良い）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予算費目(直接経費のみ） | 提案予算額(千円） | 使途 |
|
| a.物品費 | 2,000 | 想定顧客ヒアリングのための試作品部材 |
| 2,000 | 開発用資材（実験器具）・想定顧客提示向けの実験データ取得のため |
| 500 | 開発用部材（試薬、試料）・想定顧客提示向けの実験データ取得のため |
| 　 |  |
| 　 |
| 　 | 　 |
| b.旅費 | 10 | つくば⇔東京、1回、4名、DemoDay参加 |
| 50 | つくば⇔東京、5回、4名、想定顧客打ち合わせ |
| 　 | 　 |
| 　 | 　 |
| c.人件費・謝金 | 51 | 専門家相談謝金（4,300円×2時間×6回） |
| 600 | RA雇用（50,000円×12ヶ月） |
| d.その他 | 600 | （外注費）　XX計測技術調査 |
| 900 | （外注費）　XXの競合技術調査 |
| 1,000 | （外注費）　XXのデータ分析 |
| 289 | 想定顧客評価用試作品、輸送費 |
| 2,000 | 想定顧客評価用試作品、加工費 |
| 　 | 　 |
| 合計 | 10,000 | 　 |
|

|  |
| --- |
| 　（注意）※記入例は削除して提出すること。※「使途」欄は調達する物品・役務等の名称だけでなく、その調達が顧客ヒアリング、ビジネスモデルブラッシュアップ等の事業化に向けて必要な理由が分かるよう記載すること。※事業化を目的としない基礎研究のための経費には使用しないこと。※外注費としては、研究開発要素を含まない内容のみが対象。また、外注費は、原則として、直接経費の50%以内とすること。※人件費・謝金の合計は、原則として、直接経費の総額の50%以内とすること。 |

 |